

天明由緒

九尾

中江之卷

濱川 昭助
松山 行重
法 三賢
林 昌種
細谷 大史
今治 幸治
小野 五右衛門
中川 高昌
吉野 實高
坂中 實高



福井 昌甫
南條 深田
小野 正
中野 宗碩
牛尾 龍夫
中野 嘉平
中野 宗直
新井 隆治
吉原 昌甫

福井 昌甫
山根 隆吉
西尾 重八
江向 登
高田 文重
河村 宗吉
高田 宗吉
石井 宗助
高橋 宗太
高田 元吉
高田 宗吉

澳門曆年由緒

一 粵祖文

澳門曆年由緒

麻豆院林氏父三德之於十月為其自安之子年數
中亦有在書中

麻豆院林氏父三德

因麻豆院林氏父三德之子年數

麻豆院林氏父三德之子年數

一 祖文

澳門曆年

澳門曆年

澳門曆年

因麻豆院林氏父三德之子年數

因麻豆院林氏父三德之子年數

因麻豆院林氏父三德之子年數

林 昌徳の語

一 又

林 昌徳

齊名院後には元徳の事も多し人徳ありて徳徳あり
くまの事徳ありて人徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
事の事徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
りて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり

一 又

林 昌徳

徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
人徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり

一 又

林 昌徳

徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり

徳徳ありて徳あり

林 昌徳

徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり

林 昌徳

徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり

小野 中 徳

又

小野 中 徳

徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり
徳徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳ありて徳あり

有... 院... 日...
... 院... 日...
... 院... 日...

變 小野半

... 院... 日...
... 院... 日...
... 院... 日...

變 小野半

... 院... 日...
... 院... 日...
... 院... 日...

白河 卷の緒

... 院... 日...
... 院... 日...
... 院... 日...

... 院... 日...

... 院... 日...
... 院... 日...
... 院... 日...

中野の遺稿

一 復

中野の遺稿

舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事

一 又

中野の遺稿

舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事

中野

舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事

中野の遺稿

舟中夜宿の事

舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事

中野

舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事
舟中夜宿の事

月○日○女○所○在○所○同○所○人○之○心○也○
此○中○之○人○所○在○之○所○也○
所○在○之○所○也○

今○年○平○水○水○路

今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○
今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○
今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○

新○辰

今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○
今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○
今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○

今○年○平○水○水○路

今○年○平○水○水○路

今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○
今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○
今○年○平○水○水○路○之○所○在○也○

此の書は、
一

後唐の事

ノ

後唐の事

後唐の事、
一

ノ

後唐の事

後唐の事、
一

後唐の事、
一

後唐の事、
一

後唐の事

後唐の事、
一

此乃... 卷之...

後德院... 卷之...

出元...

夏 出元...

後德院... 卷之...

夏 出元...

後德院... 卷之...

後德院... 卷之...

後德院... 卷之...

中...

夏...

後德院... 卷之...

後德院... 卷之...

大の藤原の権威は、その家傳の三つに由りて、
ありて、人仕のありて、
後醍醐院の権威は、
目下、
自云、
正和元年、
三つに由りて、
西暦三年、
母、
の村、

隔 第八内篇

隔 十文

一
後醍醐院の権威は、
ありて、
目下、
自云、
正和元年、
三つに由りて、
西暦三年、
母、
の村、

一
野田平三信由緒
又
有平信一侯名世田徑角平下平

一
野田平三信由緒
又
有平信一侯名世田徑角平下平

一
野田平三信由緒
又
有平信一侯名世田徑角平下平

一
野田平三信由緒
又
有平信一侯名世田徑角平下平

この書は、
上巻、
下巻、
一

高橋中七

久米邦武の
著
一

この書は、
上巻、
下巻、
一

この書は、
上巻、
下巻、
一

一 後德院御成文

西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

一 西行御成文

西行御成文

平昔の事補綴に在

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て
國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢

書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

三國志の序

後漢

書に在る事

今も亦其人其地を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

後漢書に在る事今も亦其人其地を以て

國名に改めざるは其の意を以て國名に改めざる

是乃人所共知の事也

後世に於ては其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

其の事を知る者も亦少からず

一 廿一日 由緒

又

廿一日

後... 廿一日

廿一日

廿一日

後... 廿一日

一 廿一日 由緒

廿一日

後... 廿一日

廿一日

後... 廿一日

一 廿一日 由緒

廿一日

廿一日

後... 廿一日

一 復又
 此中... 復又... 此中... 復又...
 一 復又
 此中... 復又... 此中... 復又...

一 復又
 此中... 復又... 此中... 復又...

一 復又
 此中... 復又... 此中... 復又...

一 復又
 此中... 復又... 此中... 復又...

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

又

又

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

楊尼... 記

親中... 記

親中

親中

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

一 夫の元... 此書入... 海... 夫の元... 此書入... 海...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, consisting of several lines of text.

周氏前白者

抄发

Handwritten text in a cursive script, continuing the document or letter, with several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document or letter, with several lines of text.

Handwritten text in a cursive script, continuing the document or letter, with several lines of text.

一 徳島國の西に於ては、
徳島藩の藩政が、
徳島藩の藩政が、

一 徳島藩の藩政

一 徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、

一 徳島藩の藩政

一 徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、

一 徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、

一 徳島藩の藩政

一 徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、
徳島藩の藩政は、

如天忠義の緒

一 秘傳の道は天の旨に由りて成るなり
後世に流布せられたるものあり
大なる秘法は神の御心にて成るなり
天の旨に由りて成るなり
秘傳の道は天の旨に由りて成るなり

如天忠義の緒

一 秘傳の道は天の旨に由りて成るなり
後世に流布せられたるものあり
大なる秘法は神の御心にて成るなり
天の旨に由りて成るなり
秘傳の道は天の旨に由りて成るなり

如天忠義の緒

一 秘傳の道は天の旨に由りて成るなり
後世に流布せられたるものあり
大なる秘法は神の御心にて成るなり
天の旨に由りて成るなり
秘傳の道は天の旨に由りて成るなり

如天忠義の緒

一 秘傳の道は天の旨に由りて成るなり
後世に流布せられたるものあり
大なる秘法は神の御心にて成るなり
天の旨に由りて成るなり
秘傳の道は天の旨に由りて成るなり

大正九年四月

一、後、
後、
後、
後、

後、

後、

後、

後、

後、

後、

後、

所請者皆奉命之次第也解之是也奉之

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺

山月寺の寺



